



小児科から成人診療科への移行について

小児科って何歳まで？



「今年は高校生になるのですが、高校生になっても診てもらえるのでしょうか」という質問を受けたことが何度もあります。小児科は15歳までと思っている方が多いようです。また、いわゆる総合病院といわれるような大きな病院で、小児科、内科など多くの診療科があるところでは、15歳以上は内科に案内されているようです。たしかに薬の量は15歳以上には大人量が処方されます。



日本小児科学会では…

日本小児科学会は診療対象年齢を成人するまでとしています。民法では、以前は成人を20歳以上としていましたが、2022年4月1日からは18歳に引き下げられました。また、児童福祉法では児童を18歳未満としています。多くは高校を卒業すると親元を離れ進学や就職をしますので、小児科での診療は18歳までとするのが合理的だと思われます。

学会は移行に関するガイドブックを作成中

日本小児科学会では、疾患別の移行に関するガイドブックを作成しつつあります。現時点では、各専門領域の分科会が移行する疾患を取り上げ、それぞれの疾患の移行方法をまとめガイドラインを作っています。完成するにはまだまだ時間がかかります。しばらくは主治医が試行錯誤しながら成人診療科と連携してそれぞれに合った移行を模索している状態です。



「安心と満足をモットーに、信念と誠意を持って、科学的根拠に基づく診療を行います。」



医師 藤本 保

成人となった慢性疾患のある子どもたちは？

慢性疾患があり成人になった子どもたちは、どうすればよいのでしょうか。いつまでも小児科で診ていくというわけにいかなくなります。年齢は長じても親元を離れられない方も多いと思われます。成人診療科に移行する必要が出てきます。

長年診療を受けてきた小児科の方がすべてのことをよく知っているから安心ということもあるでしょう。ところが**年齢が長じると必ず成人特有の病態が生じる**ようになります。やはり**成人診療科へ移行**せねばなりません。



成人診療科へ移行する場合の問題点と移行の方法

問題となるのが、成人診療科の先生方が小児期発症の小児慢性疾患に詳しくない可能性があることです。そこで、疾患や状況によって小児科と成人診療科が併診（協同して診療）する、小児科で診療を続けながら徐々に全面的に移行する、あるいは思い切りいきなり全面的に移行するパターンがあると思われます。いずれの場合も**小児科と成人診療科の連携が重要**です。多くの場合、小児科からこのようにして成人診療科へ移行しましょうと、移行の方法を具体的に示します。患者さんの方から成人診療科へ紹介してほしいと依頼することもあるでしょう。特に親元を離れ遠隔地で生活しなければならない場合です。このような場合、その地域の疾患別専門医を調べて、小児期の詳しい診療情報提供書を作成し紹介します。



どうぞご相談ください

当院には小児慢性病を対象とする疾患別外来として、循環器病・腎臓病・てんかんなどの神経系の病気を診る神経・自閉スペクトラム症などの発達障害といわれる発達・内分泌病の各専門外来があり、**成人期に達した方々の移行支援**をしています。

当院も開院以来38年経ち、赤ちゃんであった方々が30歳を過ぎるようになっていきます。成人に達してもそのまま当院で診療を続けている方がかなりの数います。

成人特有の疾患が加わってくることに対処するには、現時点では成人診療科と併診という形となっています。良い形で移行を成し遂げたいと努力しています。移行に関して何なりとご相談ください。

寮生活をはじめられる方へ



当院では髄膜炎菌ワクチンを取り扱っています。

髄膜炎菌は感染力が強く、集団感染を起こします。この菌による髄膜炎や菌血症では、病状の進行がきわめて速い場合があり、劇症型の予後は不良で、致死率 50%に及びます。

近年ではインバウンド増加もあり、予防の重要性はよりクローズアップされています。

接種推奨対象者は、

- ・寮などで集団生活を送る者（国内では学校、警察、自衛隊など）
- ・流行地域への海外渡航者や医療ボランティア
- ・国際的な大会などマス・ギャザリングへの参加者
- ・定期接種実施国への留学生



その他、免疫低下のあるハイリスク患者などとなっておりますのでぜひご相談ください。

また、予約や金額など、ご遠慮なくお問い合わせください。

出典：中野貴司「髄膜炎菌髄膜炎、予防接種の手びき 2022-2023 年度版」岡部信彦ほか編、近代出版、2022、p.327-333.

〈 季節のイベント紹介 〉

毎年節分の日には、病棟でイベントを行っています。

昨年は鬼のかぶり物を製作し、それぞれ個性あふれる鬼が完成しました。

また、やさしい鬼の登場に、豆に見立てたボールで豆まきを楽しむ姿が見られ、病棟には笑顔や笑い声があふれていました！今年はどうな1日になるでしょうか。

入院生活の中でも季節を感じ、楽しいひとときとなればと思っています♪



やさしい鬼と
パシャリ！

食事には、季節を感じられる
“節分豆” がつきました！



豆腐つくねバーグ

卵・小麦粉アレルギーのお子様も一緒に楽しめる！

豆腐の力で冷めても固くならず、小さなお口でも食べやすい
ふわふわ仕立て♪

(材料 4人分)

- | | |
|---------|------------|
| ・鶏もも挽き肉 | 300g |
| ・絹豆腐 | 150g(1パック) |
| ・玉ねぎ | 中 1/2個 |
| ・塩こしょう | 少々 |
| ・片栗粉 | 大さじ2 |
| ・油 | 小さじ2 |

○ソース

- | | |
|-----------|------|
| ・トマトケチャップ | 大さじ4 |
| ・中濃ソース | 大さじ2 |
| ・砂糖 | 小さじ1 |

【作り方】

- ①玉ねぎをみじん切りにし、熱したフライパンに油の半量をひき、透明になるまで中火で炒める。(電子レンジ 500Wで3分加熱でもOK) その後、玉ねぎは粗熱を取る。
- ②ボウルに、Aの材料と粗熱を取った玉ねぎを入れて、よく混ぜ合わせる。
- ③空気を抜きながらお好みの形に成型する。
- ④フライパンに残りの油を引いて火にかけ、フライパンが温まったら③を並べて中火で焼く。
- ⑤片面に焼き目がついたらひっくり返し、フタをして火を弱めて蒸し焼きにする。
★竹串を刺し、透明な肉汁が出たらOK！
- ⑥ソースの材料を全て合わせて混ぜる。
- ⑦豆腐つくねバーグの上にソースをかけたら完成☆



～診療時間のご案内～

午前 9:00～12:00
午後 15:00～18:00 (月～金)
14:00～18:00 (土)

乳児健診・予防接種

14:00～17:00 (水曜のみ) 予約制

☆休診日：日曜・祝祭日・年末年始

ただし急患の方はこの限りではありません
お電話なしでこ来院ください

☆付き添いに関するお願い☆

当院では感染拡大防止対策として、入院患者様の付添いや時間外の面会を制限させていただいており、また外来診察は、

『患者さま1名につき、付添い1名のみ』

とお願いしています。付添いがお一人で難しい場合は、スタッフにご相談ください。

ご理解の上、ご協力をお願いいたします。